

「良いサマリア人 から学び 2」

ルカの福音書17章11-19節

1

さて、イエスはエルサレムに向かう途中、サマリアとガリラヤの境を通られた。ある村に入ると、ツアラアトに冒された十人の人がイエスを出迎えた。彼らは遠く離れたところに立ち、声を張り上げて、「イエス様、先生、私たちをあわれんでください」と言った。イエスはこれを見て彼らに言われた。「行って、自分のからだを祭司に見せなさい。」すると彼らは行く途中できよめられた。 ルカ17:11-14

2

そのうちの一人は、自分が癒やされたことが分ると、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリア人であった。すると、イエスは言われた。「十人きよめられたのではなかったか。九人はどこにいるのかこの他国人のほかに、神をあがめるために戻って来た者はいなかったのか。」それからイエスはその人に言われた。「立ち上がって行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」 ルカ17:15-19

3

いやされた10人

- さて、イエスは十二人をそばに呼んで、彼らに話された。「ご覧なさい。わたしたちはエルサレムに上って行きます。人の子について、預言者たちを通して書き記されているすべてのことが実現するのです。人の子は異邦人に引き渡され、彼らに嘲られ、辱められ、唾をかけられます。彼らは人の子をむちで打ってから殺します。しかし、人の子は三日目によみがえります。」 ルカ18:31-33
- 弟子たちには、これらのことが何一つ分からなかった。彼らにはこのことが隠されていて、話されたことが理解できなかった。 ルカ18:34

4

いやされた10人

- 「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人です。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためです。」 ルカ5:31-32
- 「人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」 ルカ19:10

5

いやされた10人

- 私はこれを心に思い返す。それゆえ、私は言う。「私は待ち望む。【主】の恵みを。」実に、私たちは滅び失せなかった。主のあわれみが尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実は偉大です。【主】こそ、私への割り当てです」と私のたましいは言う。それゆえ、私は主を待ち望む。 哀3:21-24
- 苦しみにあったことは私にとって幸せでした。それにより私はあなたのおきてを学びました。 詩119:71

6

感謝したひとり

- そのうちの一人は、自分が癒やされたことが分かると、**大声で神をほめたたえながら引き返して来て、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。** 17:15
- 回り道をして、**自分から(心から)ささげた「賛美礼拝」と「感謝礼拝」**
- ルカ7章で、イエス様の足に高価な香油を注いだ「罪深い女」の「感謝礼拝」と比較。

7

感謝したひとり

- 今日流行の福音？
- 最小限の信仰で罪の赦しと天国に入ることを保証するのが福音(恵み)？
- それはイエス様やパウロが宣べ伝えた、聖書の教える福音ではない。
- イエス様の時代にも、代々受け継がれた間違った「思い込み」があった。

8

感謝したひとり

- サマリヤ人の信仰＝言われなくても、言われた以上のことを喜んでする信仰(感謝)
- 自分の趣味のためなら喜んで時間、お金を捧げるが、自分の救い主、主のためなら？
- 会社のためならやるけど、教会のためなら？
- 金のためならできるけど、神のためなら？

9

感謝したひとり

- わがたましいよ【主】をほめたたえよ。私の中に
あるすべてのものよ聖なる御名をほめたたえよ。
**わがたましいよ【主】をほめたたえよ。主が良
くしてくださったことを何一つ忘れるな**
詩103:1-2
- 「【主】に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。」 詩107:1

10

感謝したひとり

- **いやし(問題の解決)より赦し(関係)**
- 「**済み**」より「**住み**」一緒に永遠に生きる
- 「**感謝の人**」？「**不平不満の人**」？ルカ6:45
- 信仰は感謝して、喜んで「回り道」(「無駄なこと」)をする。 ナルドの香油
- **信仰＝信行＝親交、神と一緒に生きる**
- **歓迎してくれる神を、日々歓迎して一緒に生
きましよう。**

11